

小山町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が一因とされる気候変動は、世界中の人々や生態系に影響を与える深刻な問題となっており、本町においても、令和元年10月の台風19号では、山間部での土砂災害、家屋への土砂流入など大きな被害をもたらしました。

このような状況の中、世界各国における地球温暖化抑制に関する意識も急速に高まっており、我が国においても、令和2年10月の内閣総理大臣所信表明では「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言しています。

小山町では、再生可能エネルギーを活用した産業整備事業など、持続可能な社会に向けた取組を進めています。富士を望む雄大な景観、豊かな自然環境や清らかで豊富な水資源に恵まれた小山町は、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、町民や事業者等と一体となって取り組むことを宣言します。

令和4年3月29日

小山町長

池谷 晴一